

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 5 部門第 3 区分

【発行日】平成21年5月14日(2009.5.14)

【公開番号】特開2008-138962(P2008-138962A)

【公開日】平成20年6月19日(2008.6.19)

【年通号数】公開・登録公報2008-024

【出願番号】特願2006-326666(P2006-326666)

【国際特許分類】

F 2 4 F 13/20 (2006.01)

F 2 4 F 13/10 (2006.01)

F 2 4 F 13/14 (2006.01)

【F I】

F 2 4 F 1/00 4 0 1 C

F 2 4 F 13/10 A

F 2 4 F 13/14 F

【手続補正書】

【提出日】平成21年3月27日(2009.3.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ケーシングの吹出口から吹出す空気を吹出方向に導く導風パネルを備え、該導風パネルは、その下端がケーシングに対して第 1 の回動軸周りに開閉回動自在に軸支され、該導風パネルを第 1 の回動軸周りに回動する導風パネル回動機構が設けられたことを特徴とする空気調和機。

【請求項 2】

前記導風パネルは、主に吹出口を覆うカバーパネルと、該カバーパネルの上側に配置される延長パネルとに分割され、前記カバーパネルが延長パネルに対して第 2 の回動軸周りに回動自在に支持され、前記カバーパネルを延長パネルに対して第 2 の回動軸周りに回動するカバーパネル回動機構が設けられたことを特徴とする請求項 1 に記載の空気調和機。

【請求項 3】

前記延長パネルは、その両端部にパネルベースを備え、該パネルベースの下端部に前記第 1 の回動軸が設けられ、パネルベース間に吹出口から吹出す空気の通気部が設けられたことを特徴とする請求項 2 に記載の空気調和機。

【請求項 4】

前記カバーパネル回動機構は、ケーシング側に配設された駆動モータと、該モータの駆動力をカバーパネル側に伝達するギヤ列とを備え、カバーパネルの回動時にカバーパネル側のギヤ列の一部がケーシング側のギヤとの噛合から離脱するのを防止する保持機構が設けられたことを特徴とする請求項 2 に記載の空気調和機。

【請求項 5】

前記カバーパネルは、延長パネルと略直線状に配置されて一体的に接続された閉姿勢と、延長パネルに対して第 2 の回動軸周りに開回動して開放された開姿勢とに切換え自在とされ、前記カバーパネルを延長パネルに対して閉姿勢に保持する係止機構が設けられ、該係止機構は、カバーパネルと延長パネルのパネルベース側とのいずれか一方に設けられた係止爪と、該係止爪に係脱自在に係止する係合穴付きの係止レバーと、前記係止レバーに係

止方向に付勢する付勢手段とから構成されたことを特徴とする請求項2に記載の空気調和機。